

## 【取組事例2】

# 当法人における 働き方改革



医療法人 篠原湘南クリニック  
クローバーホスピタル  
理事長 篠原裕希

## 医療勤務環境改善支援センター



### 【目的】

医療従事者が健康で安心して働くことができる  
職場環境の整備

### 【意義】

「雇用の質」の向上

経営の安定化

「医療の質」の向上

患者満足度の向上

# 神奈川県の場合



医療過疎地域



2

# 当法人の紹介

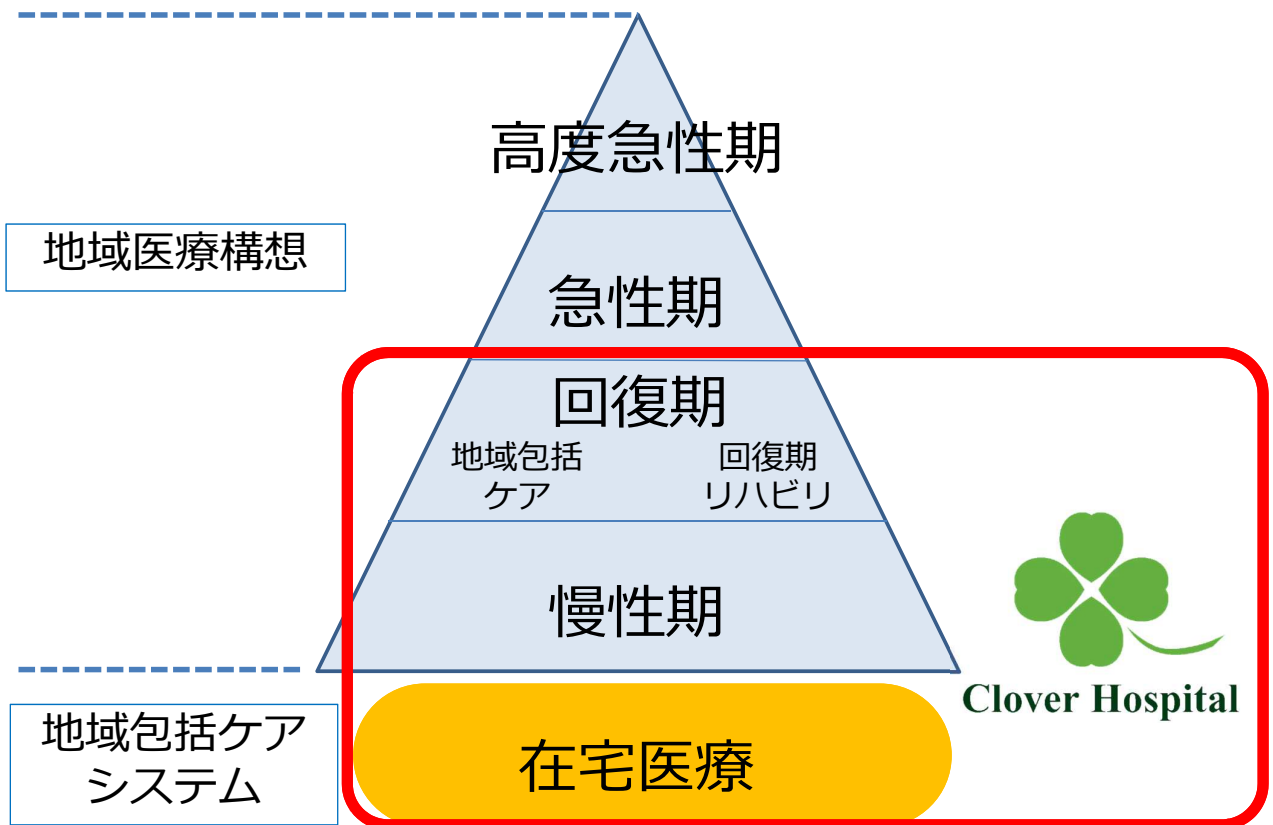


事業所	職員数
<b>在宅療養支援病院 クローバーホスピタル 170床</b> 地域包括ケア病棟 46床 回復期リハビリテーション病棟 60床 医療療養病棟 31床 特殊疾患病棟 33床 在宅診療部	308
<b>老健リハビリセンター クローバーヴィラ 100床</b> クローバー居宅介護支援事業所	185
クローバーデイケアセンター 定員107名	
クローバークリニック ひろき訪問看護ステーション	13
訪問リハビリテーション	9
介護付有料老人ホーム クローバースガーデン 30室	43

2019年12月末 法人内 合計558名

3

# 当法人の立ち位置



## プロフィール



- 外科医
- 在宅医
- 藤沢市では
  - ・ 介護認定審査委員および委員長として10年間活動
  - ・ 藤沢市医師会理事として3期活動
  - ・ 認知症サポート医
- 神奈川県では
  - ・ 神奈川県医師会 理事
  - ・ 神奈川県病院協会 常任理事

### 担当

- ◆ 医師の働き方改革
- ◆ 女性医師支援
- ◆ 男女共同参画
- ◆ 勤務環境改善支援センター



# 今日の対象職種

## タスクシフトされる側

- 医師
- 看護師

## タスク提供側

- 薬剤師
- 特定看護師
- 医師事務作業補助者
- 医局秘書
- 医療ソーシャルワーカー

※介護士の現状は別途

6

## 医師の場合



# 三位一体改革

- 2040年を展望した医療提供体制の構築

地域医療構想の実現

医師・医療従事者の  
働き方改革推進

医師偏在対策の  
着実な推進

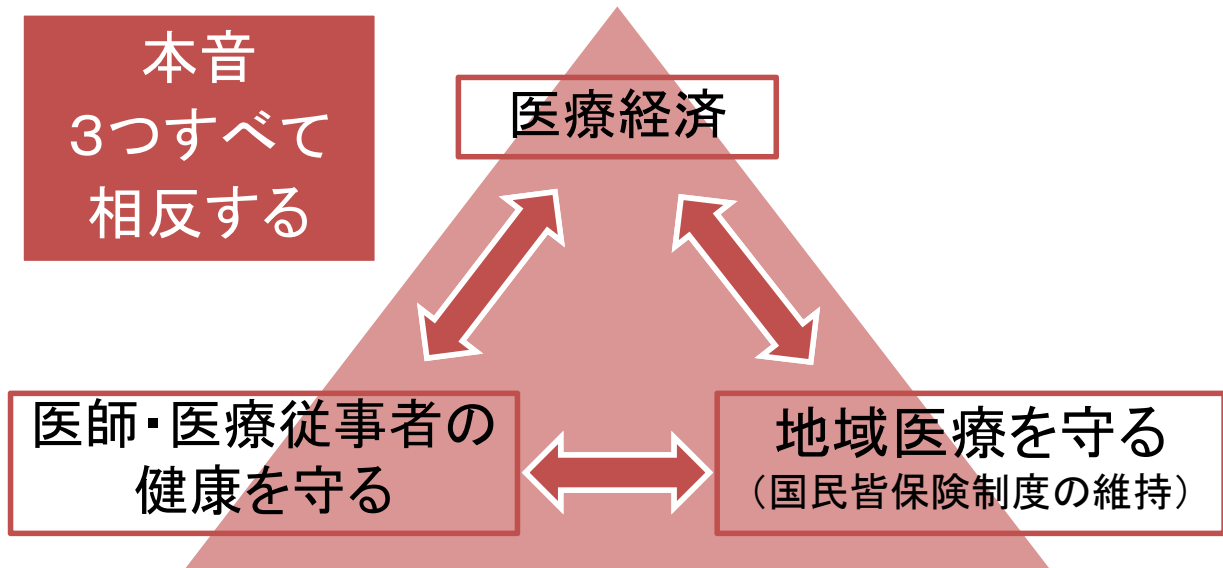
応召義務の考え方が三者すべてに大きく影響する

7



## 三位一体改革

- 2040年を展望した医療提供体制の構築



8

## 働き方改革にももの申す



- ストレスチェック
- 病棟薬剤師

9



# 医師不足の実情

2022年入学の学生が、  
2028年国家試験に合格した時点で人数的には均衡  
2038年医師が一人前になるには10年、医師不足解消

## これからの18年間を

- ・診療科による偏在の是正（救急・産科・外科）
- ・地域枠の医師・研修医・医学生制度の有効活用

10



# 緊急的取り組み

2018年2月27日医師の働き方改革に関する検討会

- 1 医師の労働時間管理の適正化に向けた取組
- 2 36協定の自己点検
- 3 既存の産業保健の仕組みの活用
- 4 タスク・シフティング（業務の移管）の推進
- 5 女性医師等に対する支援
- 6 医療機関の状況に応じた医師の労働時間短縮に向けた取組

1～4はすべての医療職に共通

11

# タイムカード重視の盲点



- ① 他業種(金融機関や製造業)とは業務内容が異なる。生命を扱うため、突発事象が多い。
- ② 日本人特有の労働観
  - ➡ サービス残業はなくなる
  - 早朝出勤して仕事、始業時刻に打刻
  - 労基署の立ち入り後も大幅には減らない

人は何のために働くのか

- ①お金のため
- ②やりがいのため
- ③家族のため

12

# 当法人における残業減少率



## 【職種ごと】

職種	9月	12月	残業減少率 (12月÷9月)
医師	0	0	0.0%
看護師	560.3	452.5	80.8%
介護職	1003.5	657.0	65.5%
薬剤師	33.5	27.0	80.6%

## 【施設ごと】

施設	9月	12月	残業減少率 (12月÷9月)
病院	783.3	695.0	88.7%
老人保健施設	1200.0	820.5	68.4%

13







## ストレスチェック②



### ・ 当法人における実施状況

	2017年度	2018年度	2019年度
対象者数	433名	449名	452名
受験者数	307名	317名	331名
受験率	70.9%	70.6%	73.2%
面接指導対象者数	57名	62名	52名
面接指導対象者数割合	18.6%	19.6%	15.7%
面接指導実施者数	0名	0名	1名
面接指導実施率	0%	0%	1.9%
面接指導を介さず 心療内科受診した者	1名	2名	0名

18

## ストレスチェック③



### ・ 当法人における費用

年度	対象者数	費用
2017年	433名	約450,000円
2018年	449名	316,663円
2019年	452名	286,623円

- 2017年度は、導入のための講師派遣や職員の研修会参加などの費用を含む
- 2019年度はより安価な業者への変更有

19

## ストレスチェック④



### 【評価】

- 全国的には80%の労働者に実施され、医師の指導までいくのは0.5%
- 当法人では3年間でのべ 955名実施、医師の指導を行ったのは4名

### 【効果】

- 職場環境の改善につながる可能性あり
- 安全委員会がしっかりと開催された

20

## ストレスチェック⑤



### 【課題】

- 従業員は義務ではないため、一定の提出率に留まってしまうこと
- 面接指導申出後、状況開示範囲を説明すると申出を取り下げる従業員が多いこと
- 面接指導後の就業意見が「要休業」、事業主が結果を踏まえて「療養休業」を発令した際、タイムリーに動いているとはいえ、当該部署の人員配置(確保)に一時的とはいえ支障が出てしまうこと
- 「従業員ファースト」のため秘匿性が高すぎ実施者及び実施事務従事者の負担が大きい

21

# タスクシフト



- タスクシフトされる側
  - 医師・看護師**  
(病院はあくまで主役は医師・看護師)
- タスク提供側
  - 薬剤師
  - 特定看護師
  - 医療ソーシャルワーカー
  - 医師事務作業補助者

22

## 病棟薬剤師①



### 【ポリファーマシー対策】

- ① 多剤服用
- ② 薬による有害事象のリスク
- ③ 飲み忘れ、飲み間違い
- ④ QOLの低下

### 【役割】

- ① 医師・看護師の負担軽減に計り知れない効果がある
- ② 医療安全の向上にも大きく寄与

### 【現状】

薬剤師にとって病院薬剤師が一番人気ない

- ① チェーンドラッグストア・調剤薬局に比べて給料低い
- ② 病院内での医師・看護師との関係性が微妙
  - ・ポリファーマシー対策への協力が無い
  - ・定時・臨時の処方箋提出が遅い

23

# 病棟薬剤師②



## 【業務内容】

調剤業務 + 病棟業務

①薬剤管理指導

②その他の薬剤関連業務

- ・病棟における抗がん剤ミキシング
- ・処方変更への迅速対応
- ・退院時における保険薬局との連携
- ・病棟配置薬の管理
- ・持参薬の鑑別

## 【加算】

病棟薬剤業務実施加算

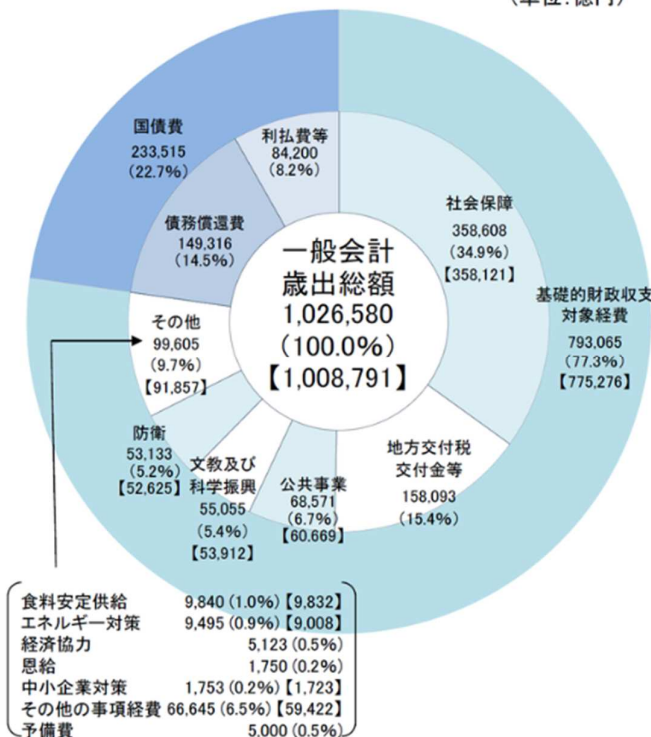
➡ 当院では療養病棟で病棟薬剤業務実施加算1を算定

# 閑話休題：ムダなもの



一般会計歳出

(単位:億円)



国民医療費 42兆6000億円  
うち薬剤費 約 8兆5000億円  
国庫支出 11兆6692億円  
(2018年度)

薬剤のムダ

残薬＋廃棄薬 1,000～1,500億円

食品ロス 11兆円

(注1) 計数については、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しないものがある。

# 特定看護師（認定看護師とは別）

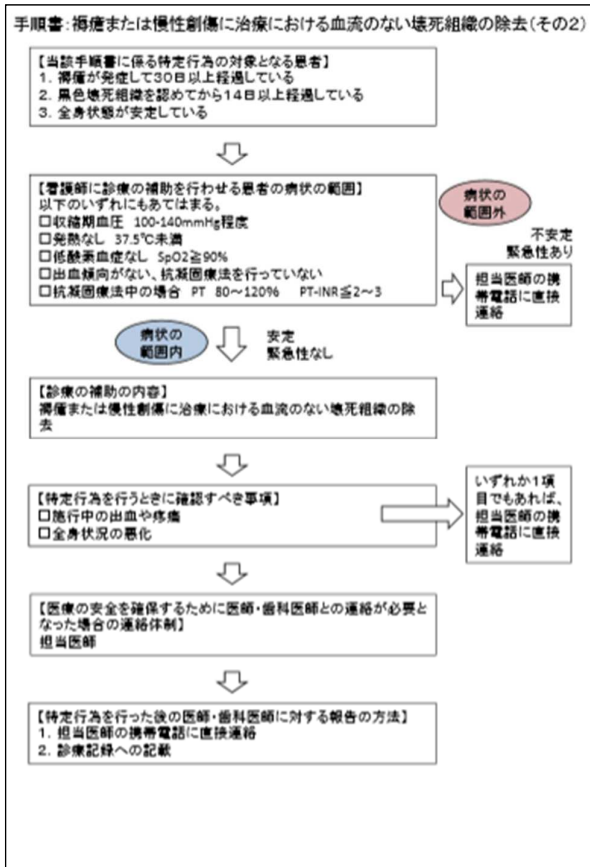
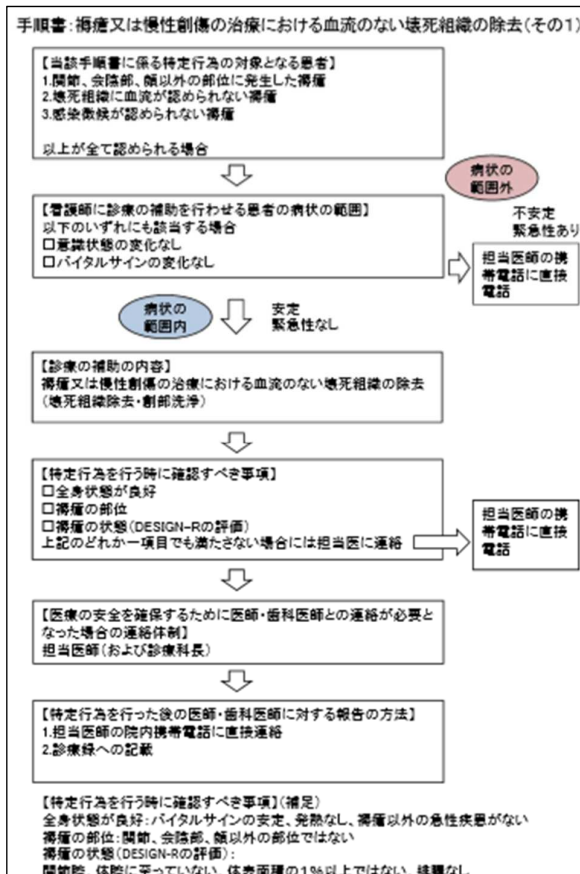


- 2015年 厚生労働省  
特定行為に関する看護師の研修制度
- 2025年問題を見据えて医師不足の補助  
⇒10万人を目標としているが、2019年4月時点で1685名
- 特に在宅分野で期待されている  
21区分 38行為(→ 参考資料)

## 【課題】

- 立場が中途半端(医師と看護師の中間的存在)  
一般看護師は戸惑い気味
- 医師の手順書が必要(医師にとっては面倒)
- 診療報酬に反映されにくい

## 【参考資料】手順書(見本)



## 【参考資料】特定行為及び特定行為区分(21区分38行為)

特定行為区分	特定行為	特定行為区分	特定行為
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	創傷管理関連	褥(じよく)瘡(そう)又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	創部ドレーン管理関連	創傷に対する陰圧閉鎖療法
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	創部ドレーンの抜去	創部ドレーンの抜去
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	人工呼吸器からの離脱	透析管理関連	桡骨動脈ラインの確保
循環器関連	気管カニューレの交換	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
	一時的ペースメーカの操作及び管理	脱水症状に対する輸液による補正	脱水症状に対する輸液による補正
	一時的ペースメーカーリードの抜去	感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与
	経皮的心肺補助装置の操作及び管理	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整
心嚢ドレーン管理関連	大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
胸腔ドレーン管理関連	心嚢ドレーンの抜去	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及び設定の変更		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整
胸腔ドレーン管理関連	胸腔ドレーンの抜去		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整
胸腔ドレーン管理関連	胸腔ドレーンの抜去(腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。)		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	抗けいれん剤の臨時の投与
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	膀胱ろうカテーテルの交換	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗精神病薬の臨時の投与
	中心静脈カテーテルの抜去	抗不安薬の臨時の投与	抗不安薬の臨時の投与
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	皮膚損傷に係る薬剤投与関連	抗癌剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整

28

## 医療ソーシャルワーカー



### 入退院支援

### 地域連携室

DPN (Discharge Planning Nurse)

MSW (Medical Social Worker)

- # 病院は在院日数と在宅復帰率の縛りが厳しい
- # 基本的に病棟ナース(医師も)は、地域包括ケアシステム(=介護保険制度)が苦手

この部署の存在はとて大きい  
医師・看護師の離職防止につながる

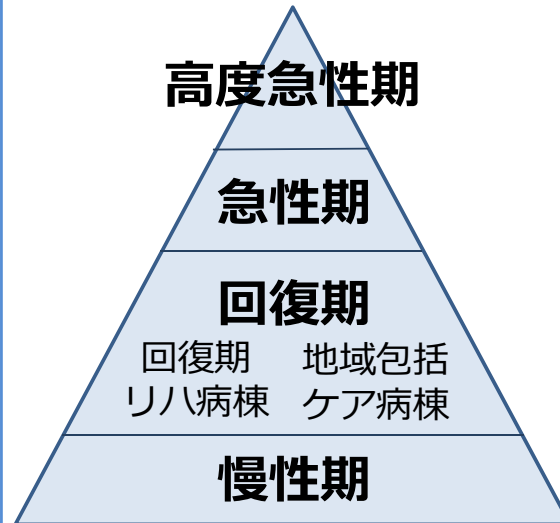
29

# 医療ソーシャルワーカー



- 2大国策である地域医療構想・地域包括ケアシステムにおける究極の潤滑油

病床機能分化(垂直連携)



地域包括ケアシステム (水平連携)

30

# 病院における介護職



病院は介護士にとって一番人気のない職場

- ① 処遇改善手当てがない
- ② 医療分野で働く情熱がないと長く勤められない
- ③ 喀痰吸引資格など取得したい人たちもいる
- ④ 完全に看護師の下という位置付け
- ⑤ 保育室完備とうたっていても医師・看護師優先

31



# 医師事務作業補助者



- 主治医意見書
- 医療要否意見書
- 入所前診断書
- 身体障害診断書
- 臨床個人票
- 生命保険会社診断書
- おむつ証明書
- ねたきり証明書
- 訪問看護師指示書

上記書類の作成補助

32

# 医局秘書



- 勤怠管理
- 会議準備
- 他部署からの問合せ対応
- 当直調整
- 医局環境整備
- 事務用品整備

33

## まとめ



- 労基署介入のインパクトは大きく、見かけ上の時間外労働は減っているが、管理職の疲弊は大きい
- 管理職希望者が激減
- 多すぎる会議・委員会を時間内に実施しなければならない
- 医療介護分野は全職種人材不足。タスク提供側も人材不足
- 働き方改革の推進は中小病院では労務倒産のリスクも大きい

34



**ご清聴ありがとうございました**

35